

総合計画とは？

自治体のすべての計画の基本となる、行政運営の総合的な指針となる計画です。
平成23年の地方自治法の改正により、総合計画の策定義務は廃止され、地方の
創意工夫による自由な計画づくりが可能になりました。

○松浦市が直面する課題

・人口減少社会への対応 ・持続可能な産業構造の構築 ・住民ニーズの多様化、複雑化

上記の課題を解決するためには、多様な主体による「協働のまちづくり」が必要
だと考えています。

○総合計画の役割

・まちの現状や課題の共有 ・まちの良さ、魅力の共有 ・まちづくりの目標、行動指針、成果の共有

市民と行政が対等の立場で、自分たちのまちの将来や課題等について、ともに考え、
学び、行動するための指針となるという役割があります。

○総合計画の位置付け

・法に基づく計画⇒地域の特性に合わせた計画 ・行政起点の計画⇒地域起点の計画
・行政施策を示す計画⇒市民と行政の行動指針を示す計画

行政計画から公共計画へ移行します。

○全体のイメージは

これから迎える人口減少社会への対応と人口減少にあらがう取り組みとして、住民主体の
活動を促進するとともに市の施策を総合的かつ計画的に実施していくため、新たな総合
計画は、市民と行政が、将来ビジョンを共有する「地域社会全体の計画（公共計画）」として
策定しました。

将来のための
計画だからみんなで
つくるんだよ

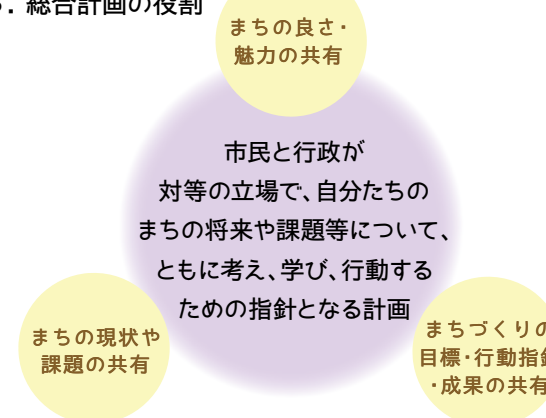
大人も子どもも
考えてほしいから
みんなの自由研究
でもあるんだ

●松浦市総合計画策定の考え方

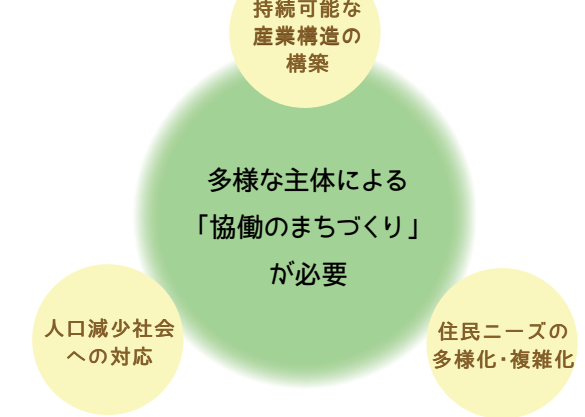
1. 趣旨

新市誕生後、最初に策定した松浦市総合計画の計画
期間が、平成28年度をもって終了しています。計画終了
後からこれまでの間は、「松浦市まち・ひと・しごと創生
総合戦略」によって、人口減少問題を克服するための
施策を展開してきました。平成23年の地方自治法の
改正により、総合計画の策定義務は廃止され、地方
の創意工夫による自由な計画づくりが可能になった
ことから、新たな総合計画を策定するという趣旨に
おいて、地域社会全体の公共計画として位置づけて
います。

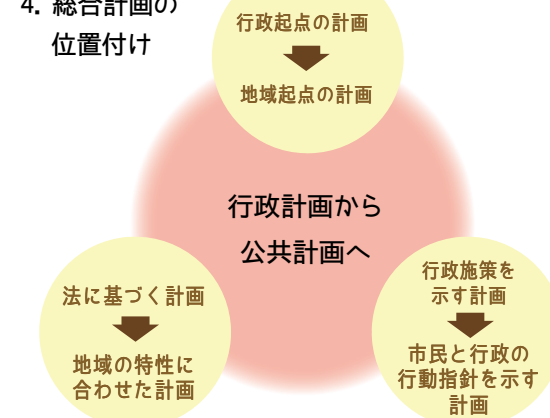
3. 総合計画の役割



2. 直面する課題



4. 総合計画の 位置付け



	これまでの総合計画 (市の各種計画の最上位計画)	新たな総合計画 (市民共有のまちの将来像、目標、市民と行政の行動指針を示す市の最上位計画)
期間	10年間(2007～2016)	10年間(2020～2029)
位置付け	行政計画	公共計画
策定・実施主体	市(行政起点)	地域社会全体(地域起点)
内容	市の将来像・目標	市の将来像・目標
	まちづくりの基本理念	まちづくりの基本理念
	市の施策の大綱・基本方向・分野別施策	進むべき方向性とその実現に向けた 基本的施策と各関係主体の役割・行動
基本構想	将来像・施策の方向及び体系を示したもの	将来像・施策の方向及び体系を示したもの
基本計画	基本構想に基づき実施する具体的な施策	基本構想に基づき実施する具体的な施策
実施計画	基本計画で定めた施策について 具体的な事業を体系化したもの	市の各種計画
		地域のまちづくり計画 (小学校区単位等による地域運営組織が 自主的に策定する計画)

未来の松浦市にとって 一番大切なもの

松浦は決して大きなまちではない。

大きなまちと比べて便利な暮らしができるわけでもない。

だけど、松浦には皆が愛しているもの、誇りに思っているもの、いいところがたくさんある。

松浦に、これからも住み暮らしていきたいと願っている人がたくさんいる。松浦を訪れ、松浦の魅力を熱く語ってくれる人もいる。私たちが大切にしている松浦は、これから数十年、人が減り続ける今までに体験したことがない、大変な時代に突入していく。30年後には今と比べて人が半分になってしまうという予測もされている。何かをしなければ、何かを変えなければ、今の松浦は無くなってしまうのだ。

来る困難な時代に、皆が松浦のことを「いいね」と言えるまちにしていくためには、何が一番大事なかを総合計画を策定する過程で皆で考えてきました。

その答えは、「人」でした。

年齢、世代、性別を越えて学び合い、共に育つことで、

そして、地域を越えてつながることで、私たちがやるべきこと、できること、解決できること、盛り上げられることがきっと見つかるはずです。

そして、やろうということが見つかったら、失敗するかもしれないけど動いてみる、動かしてみる、応援する、後押しする……。

松浦を良くしていくために、学び合い、つながり、やってみる……。

そのための環境整備や仕組みづくりを行います。

「人」の力をまちに循環させることで、「松浦がいいんじゃない」と皆が言えるまちを目指します。



基本構想

方向性（海）

基本理念（旗）



将来像（島）

- ・安心して子育てができる環境
- ・充実した教育が受けられる環境
- ・地域や世代を越えて、皆が学べる環境
- ・ふるさとの宝を磨き、輝かせ、次世代へつなぐ
- ・感じたい、訪れたいと思える
- ・日本や世界を支える産業が生まれ、育つ環境
- ・皆が松浦の産業を理解できる
- ・住みたい住み続けたいような環境
- ・戻って来たい環境
- ・皆が分け隔てなく、快適で幸せに暮らせる環境
- ・仕事や生活のための基盤が整っている環境
- ・ひとが集い、語り合い、つながることのできるコミュニティ
- ・誰もが認め合い全員でチャレンジできる環境
- ・小学校区を単位とした協働によるまちづくり

学び育てるまち

誇れるまち

仕事をつくるまち

未来へ続くまち

安心、幸せのまち

皆でチャレンジするまち

育つ・つながる・根をおろす

松浦がこれからの10年、20年・・・と未来へ続いていくために未来会議で出された意見から紡ぎ出した、いろんなことをやっていく上で根底となるもの、意識すべきものとして最も重要な3つの要素を掲げます。



「誰か」ではありません。行政も、市民も、議会も、企業体や団体なども含めて、一人ひとりが主語となる合言葉です。

育つ

松浦の将来を担う、子どもたち。松浦の未来を担う存在となる彼らを育てていく。大人世代は皆大事だと感じていること。と、ともに、背中を見せる、教える立場の大人たちも共に育つことも大事。皆が皆を育て、自分も育つことができれば、住んでいる地域も育つ、産業も・・・そして、それが松浦を元気にしていく。

つながる

松浦には特色のある地域が存在する、いろんな年代の人が住んでいる、いろんな産業がある。そこには良いところ、悪いところ、強いところ、弱いところがあるだろう。長所を伸ばし、短所を補う、皆が考えて、知恵を出し合えば、いろんなチャンスを開拓し、困難も乗り越えられる。「無理だろう・・・」と諦めたことも実現できるかもしれない。つながることも大事だけど、自分がつなげられる存在になることも大事。

根をおろす

松浦が未来へ続くためには、松浦に根付く人がどれだけいるか。根付く産業がどれだけあるか。この視点を忘れてはいけない。就職時に希望する職種がなく、また、大学進学のため自然と松浦から出ていく・・・高校、中学からでも将来を見据えて他の自治体へ移る場合も少なくないかもしれない。もしかしたら、今、松浦で働いていても、松浦で暮らしていない人も少なくないかもしれない。松浦に住み暮らす人が増えることはもちろん、そういう松浦にルーツがある人、松浦の外で松浦のことを思いながら、活躍してくれる人を増やしていくことも大事。

松浦市の基本理念はこんな感じなんだ